

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/jhtamanagayama/>

コロナとコミュニケーションと

校長 佐藤 信雄

今回は二つ、お話をします。まず、新型コロナウイルスの扱いが変わったことによる出欠の取扱いの変更です。皆さんもご存じかと思いますが、新型コロナウイルスが5月8日から季節性インフルエンザと同じ2類に移行するというニュースが、テレビやネットや新聞で流れていましたね。実はこれにより、学校の欠席についての取扱いが変わりました。先日お便りをお配りしましたが、ここで皆さんに改めて確認をしておきます。

今までは、喉が痛かったり、熱があつたりすれば、新型コロナウイルスに感染した疑いがあると考え、出席停止にしていました。出席停止とは、欠席にならないということです。ですからお休みの数が増えません。

ところが5月8日からは、新型コロナウイルスに感染した「疑い」では、出席停止とはなりません。出席停止になるのは、「新型コロナウイルスに感染したことが判明してから」となったのです。ですから、発熱があつたりしてお休みしても、病院に行かなかつたり、検査を受けても陰性だと、そのお休みは欠席となります。

また、今までは皆さんやおうちの方が、「新型コロナに感染することが不安だから、休みたい」という場合は、出席停止になっていました。しかしこれからは、おうちの方から学校にお電話などで相談していただくこととなります。お話をうかがってから、欠席になるか出席停止となるかを判断します。

これは、皆さんにとっては、特に3年生にとっては大きな変化です。欠席の日数によっては、私立高校の推薦受験や併願優遇が受けられないこともあるからです。どうか、普段から健康に気をつけて、換気や手洗いをするなどの感染予防対策を取っていきましょう。

さて、二つ目のお話です。突然の告白ですが、私、校長はコミュ障、コミュニケーション障害です。「えー、今もペラペラ話しているじゃないか？」と思う人もいるでしょうね。でも、コミュ障なんです。コミュニケーションをとることに、自信がありません。苦手意識を持っています。ですから、ここで皆さんにお話をするのも、何日も前からあれこれ考えて、不安でドキドキしながら話しています。そして、家に帰ってお風呂に入って左腕を洗っているときに突然「あんなこと、話さなきゃよかった！ きゃーっ、恥ずかしい！」と思いはじめて、「やだーっ」と叫んだりします。それを聞いた奥さんは、いつも笑っていますが。

きっと皆さんの中にも、コミュニケーションはどれも苦手だな、難しいなと思っている人、上手になりたいなあとと思っている人もおいでなのではないでしょうか？

ここで、一つ、コミュニケーションのコツをお伝えします。難しいなあと思いながら、長いことかけてつかんだ、私なりのコミュニケーションのコツです。

一つは、悪い言葉を使わないということです。例えば、「バカ」「キモい」「ウザい」とか、「はあっ？」とか。ひどい場合には、「死ね！」なんて言葉を、友達や仲間の間で使ったりしていませんか？

「だって友達だもん、気にしていないよ。」という人もいるでしょうね。しかし、本当にそうでしょうか？ 本当に気にしていないのでしょうか？ もしかしたら、少しずつ、確実に傷ついたり悲しんでいたりしていたら？ カチン、ムカツ、グサツとくる言葉を使わない方がよいのです。実は人は、自分で気づかないうちに傷ついたりするのですから。そしてひどいときは、いつも元気がなくなったり、ご飯がおいしくなくなったり、夜眠れなくなったりしてしまいます。そうしないためにも、悪い言葉を使わないとよいでしょう。

二つ目は、たくさんしゃべろうとしないということです。コミュニケーションが上手いということ、たくさん話せるということと誤解している人が多いようです。例えば、スポーツ競技でペアを組んでいる人がいますね。試合中に声を出して指示を伝えますか？ しませんね。言葉に出さなくとも、日ごろからの練習を通して、お互いをわかり合っているのです。ですから言葉を交わさなくとも、目と目で、心と心とで通じ合えます。素晴らしいコミュニケーションです。大切なことは、言葉をたくさん交わすことではなく、自分を相手にしっかり理解してもらい、自分が相手をきちんと理解できることです。言葉以外にも、身振り手振り、声の抑揚や大きさ、テンポ、表情がコミュニケーションの大切な手段になります。言葉は手段の一つに過ぎないのです。たくさん話すも誤解のもとにもなります。生徒の皆さん、どうか、気をつけて、コミュニケーションを楽しんでください。

(令和5年5月15日の全体朝礼でのお話に加筆しました。)

1年生、ハヶ岳へ ～2泊3日の移動教室 あれこれ～

第1学年は、5月17日(水)～19日(金)の3日間、ハヶ岳山麓へ移動教室に出かけてきました

生徒の皆さんが実によく活動し、行事のねらいを達成した2泊3日になりました。この時間を共有した生徒の間には、ある種の紐帯(ちゅうたい)のようなものが結ばれつつある、と今私は感じています。

まず、生徒がよく活動しました。係の活動も、カレー作りの野外炊飯も、田植えをはじめとする農業体験も、クラスレクも、調べ学習のプレゼンテーションも。いつもの自宅での生活とは異なり、自由気ままがあまり許されない中で、自ら取組み自ら楽しむということが出来ていました。私の目から見ると、「やらされている感」を纏う生徒がいなかったように思われます。

次に、よく楽しみました。私などのような歳を取った者と違い、限界を考えず目一杯活動する姿が好ましく見えました。また、その分疲れも出るのですが、15分も休んでご飯を食べるともう元気を回復し、外でカッコウの鳴き声を聞いている私の耳にも休憩後の歓声が届く時が珍しくありませんでした。農業体験ではカエルやトカゲを捕まえて楽しんでいましたし、泥のついた足を洗うだけでも「冷たい」と歓声を上げていました。食事の際に余ったおかずやデザートをめぐるじゃんけんは、途中からエンターテイメント色の強いクラス対抗応援合戦のようになりました。こんなに楽しめる生徒の姿を見るのは、こちらも楽しいことでした。

田植えなどの特別な体験とは別に、食事の盛り付けや配膳、風呂掃除、布団たたみや部屋の掃除、包丁を使った食材の切り分け、火起こし、お米研ぎと、生活体験をたくさん積めたことも生徒にはよかったと思います。普段は素早くスマホをいじるだろう指で包丁を握り、危なっかしくも人参やジャガイモを切るのは、生徒にとってめったにない経験ではなかったかと思います。

ハヶ岳自然の家の運営方針と環境も良いものでした。基本的なことは自分たちでやる、来た時よりきれいにして帰るという方針のもと、スマホやテレビのない生活に、お湯が出ず水しか出ない洗面所に、生徒はいろいろと不便を感じたと思いますが、新鮮でもあったのではないのでしょうか？一つだけ、夜空の星が見られなかったのが残念でした。10時ごろには天の川が天高く見上げられたはずだったのですが。

保護者の皆様には、大切なお子様を三日間遠くに置くことにご心配やご不安もおありだったかと思います。また荷物や常備薬などのご用意をはじめとした移動教室のご準備、そしてお見送り、お出迎えと多岐にわたりご支援を賜りました。学校として心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



いざ、田植え開始!



すぐに慣れて上手に



ウグイスの鳴き声が…



農業講話を真剣に聞きます



田植えの後はクラスレク



どの班が一番高くできるかな?



ロビーでの和やかな語らい



食事係が麦茶を補給してくれます



食事係の盛り付け作業



配膳も大忙しです



余ったデザートの争奪じゃんけん



さあ、どちらがゲットするか?



夕食後は長野県の調べ学習



みんな真剣ですね



完成がちかく、余裕も！



ロビーでも勉強中です



ここハチヶ岳少年自然の家が、どうりでさわやかで涼しいわけですね



いよいよプレゼンがスタート



わかりやすく説明しています



プレゼンは体育室でも



そして食堂でもプレゼンが



ロビーには活用できる図書がたくさん



学校でも図書館を利用しましたね



さようなら、自然の家！



ほうとう体験の始まり～



まずは野菜を刻みます



大鍋の前で記念に、パチリ



小麦粉をこねて、こねて



延ばして、延ばして



もっと、もっと延ばして



麺状に切っていきます！



切るのもなかなか難しい！



たいへんよくできました！



班ごとに、「いただきます！」



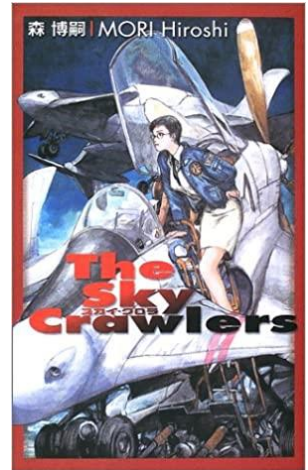
「美味しい、美味しい」

第3学年の保護者様へ 東京都育英資金奨学生の予約募集についてのお知らせ

現在第3学年に在学する生徒で、令和6年4月に、高等学校または専修学校高等課程に進学を希望される生徒に、令和6年4月から修業年限までの間、国公立は18,000円、私立は35,000円を月額で貸付けるものです。全都で400人定度を想定しています。学校を通して多摩市教育委員会を経由し東京都に申し込みます。詳細は第3学年から別途ご案内します。申込書類の提出締切が夏休み明けすぐになりますので、ご関心をお持ちの方は、多摩永山中学校までお問い合わせください。(電話 042-371-3701)

図書館へ行こう！

『The Sky Crawlers スカイ・クロラ』
(森 博嗣 中央公論社 2002年)



生徒の皆さんの中には、毎日を、もっと静かに、^{あわあわ}淡々と、感情にとらわれずに穏やかに送りたい、と願う人もいるでしょう。これは、今の年頃の皆さんにはとても難しいことなのです。皆さんのような年頃の若者の心を、心理学者のグランヴィル・スタンレー・ホール（1844-1924 米国）はこう言い現わしました。「疾風怒濤（しっふうどう）の時代（Storm and Stress）」と。心身ともにあまりにも激しく変化を続けて揺れ動く青年期を、荒れ狂う嵐と大波に喩えたのです。

この作品の主人公は戦闘機のパイロットですが、静かに、自然に、淡々と毎日を送ります。敵を撃つ時も、仲間と会話を交わす時も、パイを食べる時も、同じ静かな心持ちのままです。仲間が撃墜されても取り乱さずに静かに受け止め、特別の感情は湧き出ません。いえ、そうではなく、もしかしたら心が動けないのかもしれませんが

そんな彼は14才。敵を撃墜するためだけの戦闘機パイロットという存在。この、人の感情が強く表出されない物語の世界に触れた時、逆にある感情が私たち読者の胸に強烈に湧き上がってきます。特に読後に。

2008年には、押井守監督により同タイトルでアニメ映画化されました。音楽と映像のマッチングが特に素晴らしい作品になっています。ご覧になりたい場合は、本作を読んだあとに鑑賞することをお勧めします。

躍進する部活動 それ行け！たまなが中生！

敬称略

- ソフトテニス部 第7ブロック日南支部中学校ソフトテニス研修大会（団体戦） 4/29（土）
- 男子 第2位 リーグ戦 多摩永山中○2-1●東愛宕中 多摩永山中●1-2○稻城第三中
多摩永山中○2-1●日野第二中
- 女子 優勝 予選リーグ 多摩永山中○2-1●日野第二中 多摩永山中○3-0●日野第一中
準決勝 多摩永山中○2-0●東愛宕中
決勝 多摩永山中○2-0●大坂上中

- ソフトテニス部 春季多摩市民体育大会ソフトテニス競技中学生大会（個人戦） 5/5（祝）
- 男子 優勝 増見 陸太・渡邊 宗輝ペア
第3位 鐘木 海斗・岩木 悠馬ペア
女子 準優勝 奥谷 琉奈・高橋 友香ペア



○剣道部 東京都剣道連盟会長杯争奪中学校剣道大会7ブロック予選会

- 男子団体 優勝 先鋒：鈴木和生 次鋒：土田蒼大 中堅：星野紘希 副将：小林快有 大将：山本拳心郎
- 1回戦 多摩永山中○-●つくし野中
準々決勝 多摩永山中○-●小山中
準決勝 多摩永山中○-●町田一中
決勝 多摩永山中○-●横山中



○女子バスケットボール部 多摩市中学校バスケットボール大会 4月開催

- 3年女子の部 優勝
2年女子の部 準優勝

○女子バスケットボール部 多摩市バスケットボール交流大会会長杯 5月開催

- 優勝
最優秀選手賞 新町 沙英（3年生）



第27回運動会 速報

クラスと色は次の通りです。1組…黄 2組…赤 3組…青

- 色別優勝 青（3組）
1学年 優勝 3組（青）
2学年 優勝 1組（黄）
3学年 優勝 3組（青）

